

過敏性腸症候群を乗り越えて、「新発見の古代山城 2 城」を探訪

1 区隊 天野記

3月9日～10日にかけて、古代山城研究会の現地研究が広島であり、新たに発見された山城及び新たに比定された山城を見てきました。下痢・狭心症・心房細動等の障害を押して参加しましたので、報告します。

1. 古代山城の背景

660年、朝鮮半島の百済は、唐・新羅両軍（15万）に侵攻されて滅亡。当時同盟関係にあった倭国（日本）は復興の救援を求められ、当時人質となっていた豊璋を王に任命して、復興作戦を開始しました。

しかし百済復興軍の内紛もあり、663年日本の増援軍は白村江に於て海戦し、敗れました。（「白村江の戦い」）日本軍は半島から完全に撤退します。（百済の役）

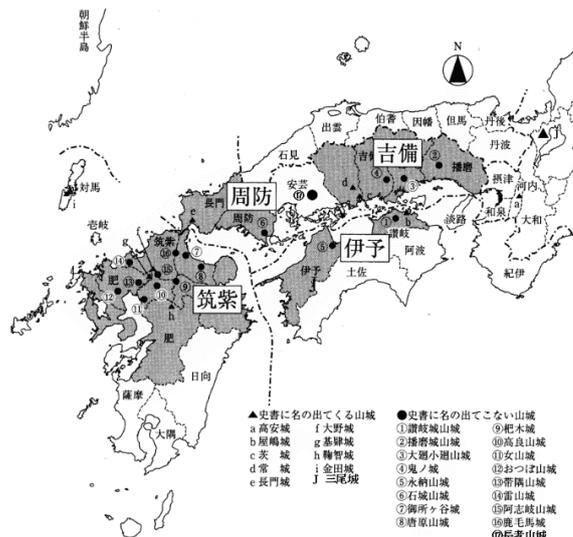


2. 日本の古代山城 朝鮮半島にルーツ

唐による侵攻の脅威に対処するため、亡命百済将軍の支援を受けて、対馬～北部九州～山陽道・瀬戸内海～飛鳥まで縦深に亘る古代山城を構築しました。

古代山城は朝鮮半島の高句麗にルーツがあるとされ、百済・新羅も採用した山城の形式ですが、日本の戦国時代の山城（約5万）とは異なり、単一の城壁で囲み、戦時には住民を收容する特色があります。

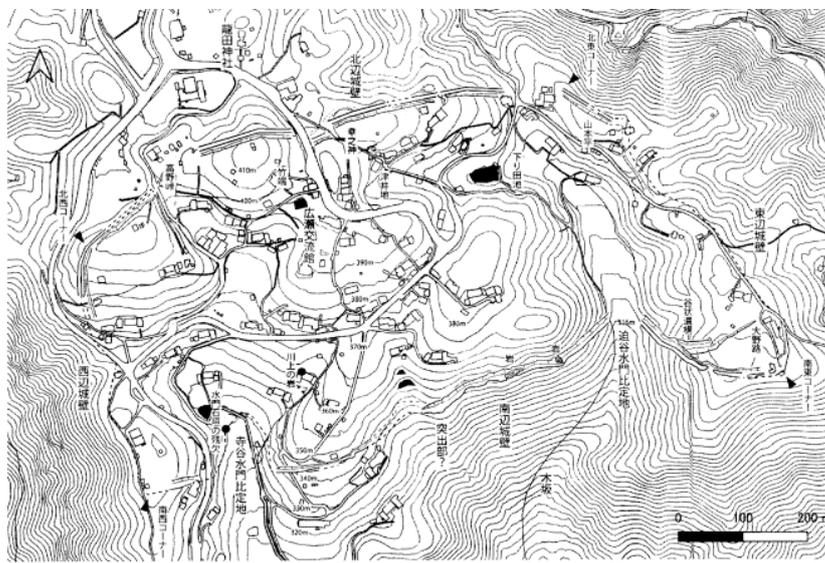
新たに国境となった対馬から北部九州～瀬戸内海沿い～飛鳥まで縦深にわたり、29城の古代山城を構築しました。これを「縦深防衛戦略」と言っています。なお、未だ未発見、未比定の山城は、5城あります。



3. 茨城 福山市加茂町北山

『日本書紀』養老3年（719）12月条には、備後国「茨城」を停止した記述がありますが、諸説あって比定されておられません。昨年、「古代山城研究会」と地元の歴史同好会が合同調査を実施し、古代山城に推定しました。

吉備高原の南端加茂町北山の標高約400mに所在し、周長約3100m、包谷式山城、土塁（約50%残存）主体、城内施設はありませんが、水源・貯水池があります。今後国の指定を目指して本格的な発



掘調査を実施する予定です。

4. 長者山城 東広島市志和町

安芸の国（広島）には、従来古代山城はないとされてきましたが、地元で伝わる長者の伝承などから、古代山城ではないかと推定、赤色立体地図など最新技術と数度の現地調査の結果、新たな古代山城に比定することになりました。

地元の『中国新聞』の記事が良くまとまっていますので、転載します。

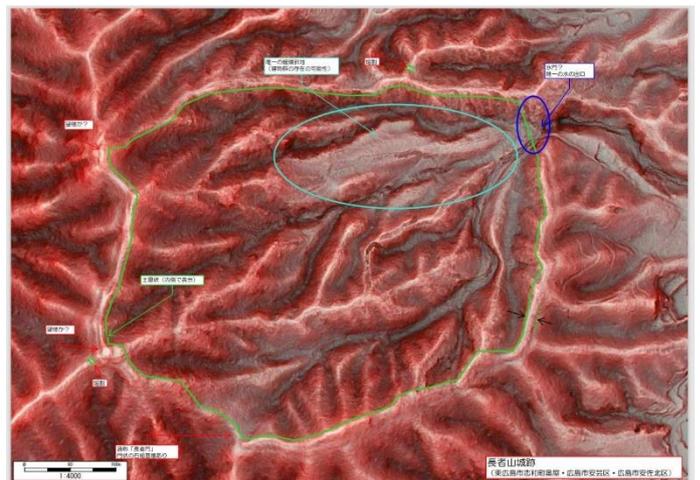


「古代山城か、東広島市の長者山城跡 研究会が調査結果を公表」（中国新聞 1.29）

全国の専門家で作る古代山城研究会（東京）は、広島県東広島市志和町奥屋の長者山の山域にある城跡が安芸国の古代山城である可能性が高いとする調査結果を公表した。調査は昨年2月から実施。石垣の状態や規模などから判断したという。同研究会によるこれまでの研究で、安芸国は古代山城の唯一の空白地帯だった。西志和地域センターで28日にあった報告会で、同研究会の向井一雄代表（61）が説明した。標高605メートルの山の外周約2・4キロに土塁が断続的に続く遺構の規模や、屋敷の門と考えられる列石の表面に石



積みの高さをそろえるための古代特有の加工の跡が残るなどの特徴を挙げて解説した。古代山城は、朝鮮半島であった7世紀の白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れた日本が国防のために造ったとされる遺構。これまで関西、九州北部地方と瀬戸内海沿いで24カ所確認されている。ただ安芸国の古代山城について記した文献はなく、実態は謎に包まれていた。江戸期以降の資料などでは、中世に屋敷や門があったと伝わっている。2019年、東広島市教委の職員が西日本豪雨の被害状況を調べるために作られた立体地図で、人工的な地形の変化を示す大規模な外周の線を見つけ、古代山城が存在した可能性が浮上。同研究会が、23年から現地調査を進めた。市教委は城跡が広島市との市境に位置するため、同市と連携して調査を進める方針。東広島市教委文化課の石垣敏之調査係長（55）は「出土品など証拠を集め、検証を重ねたい」としている。（岩井美都）



5. その他

興味がある方は、向井一雄『よみがえる古代山城』吉川弘文館 を一読ください。

[“かつての安芸国に城が” 広島に新たな古代山城を発見 | NHK 広島ニュース](#)

[【新発見】古代史ファン歓喜！広島で新たな「古代山城」が見つかったらしい！【気になる！お城ニュース】
\(youtube.com\)](#)

[【公式】古代山城研究会 | Facebook](#)